

令和 6 年第 2 回えびの市公共工事 入札・契約監視委員会 会議録概要

令和 6 年 7 月 8 日(月) 午後 2 時 開会
ひまわり荘 中会議室 尾鈴

調査及び審議事項

① 公共工事の入札及び契約手続きの運用状況に関すること

市： 令和5年10月1日から令和6年3月31日までににおける、予定価格が130万円を超える工事の入札・契約状況は次の通り。

- ・ 一般競争入札 件数 該当なし
- ・ 指名競争入札 件数 35件 契約金額 265,973,398円
- ・ 随意契約 件数 5件 契約金額 22,627,000円

調査及び審議事項

② 公共工事のうち談合情報が寄せられたものについて、市の対応状況に関すること

市： 談合情報が寄せられた工事はなかった。

調査及び審議事項

③ 抽出された公共工事に係る入札参加資格の設定、入札参加者の指名、随意契約の理由等に関すること

委員： ・ 指名競争入札はグループごとに整理して検討した。
・ 随意契約は指名競争入札と比較して検討した。

事案1 (1) 令和5年度 県単独土地改良事業 北昌明寺地区 取水施設改修工事（その1）
(2) 令和5年度 農業水路等長寿命化・防災減災事業 松原地区 取水施設改修工事

委員： [抽出理由]

- ・ 入札は同じ令和5年11月28日 指名業者も同じ4者
A社は（1）の工事に98.16%の入札で落札。（2）の工事に100%の入札で不落。
B社は（1）（2）とも辞退。
C社は（1）（2）とも100%入札で不落。
D社は（1）の工事に100%の入札で不落。（2）の工事に99.09%の入札で落札
結果的ではあるが、結果2者で分け合うような入札となっている

- (1) 令和5年度 県単独土地改良事業 北昌明寺地区 取水施設改修工事（その1）
- ・ 担当課 農林整備課
 - ・ 工事概要 スライドゲート N=1.0基、スクリーン N=1.0基
 - ・ 工事ランク 取水施設改修工事
 - ・ 指名業者数 4者 工事の内容に応じた指名
 - ・ 最低制限価格未満の入札 なし
 - ・ 予定価格（消費税込） 3,642,100円
 - ・ 契約額（消費税込） 3,575,000円
 - ・ 落札率 98.16%

(2) 令和5年度 農業水路等長寿命化・防災減災事業 松原地区 取水施設改修工事

- ・ 担当課 農林整備課
- ・ 工事概要 スライドゲート N=1.0 基、スクリーン N=1.0 基
管理橋 N=1.0 基、管理橋基礎 N=1.0 基、
- ・ 工事ランク 取水施設改修工事
- ・ 指名業者数 4 者 工事の内容に応じた指名
- ・ 最低制限価格未満の入札 なし
- ・ 予定価格（消費税込） 4,606,800 円
- ・ 契約額（消費税込） 4,565,000 円
- ・ 落札率 99.09%

市： 本2件の工事については、コンクリートの躯体にスライド式のゲートを設置するものになる。躯体工事は別途発注しており、施工に際しては打合せが必要な工事であり、それぞれの進捗状況を確認する必要がある工事になる。

B社の辞退の理由については、聞き取りを行っていないため不明。2件の工事とも全社に見積りを依頼しており、現地の状況は把握していたものとする。2件とも同様なスライド式のゲートだが、会社の受注状況や現場状況を確認した上で、それぞれ入札したものと推察している。

また、見積と入札の指名については、それぞれに通知しているため、入札当日まで、どの業者を指名したか知りえなかったと考えている。

委員： 鋼構造物工事が出来る会社がどのぐらいの数のあるのか。

市： 指名願の提出されている件数について本日は数字を持ち合わせていないが、絞り込みとして、鋼構造物工事で宮崎県内に支店等を持っている業者を抽出し、その中からえびの市内での実績もある業者を抽出し、最後に4者の指名になったもの。

委員： 鋼構造物工事が出来る会社が4者なら、当社以外に指名がかかりそうな会社に連絡としてみようと思うなど、たまたまかもしれないが、そういう目で見ることが出来る。業者を選ぶ時にはその辺をうまく工夫をしないといくらでも談合が出来る。

市： 委員会での委員の意見を業者にも伝え、発注者としても、制度の改善を今後も行っていこうと思う。

事案2 令和5年度 飯野小学校バックネット改修工事

委員： [抽出理由]

- ・ 1者のみ入札、入札障壁があり競争性が当初から無かったのではないかと
1者応札を防止する手立てをしていたのか

- ・ 担当課 学校教育課
- ・ 工事概要 老朽化により腐食している金網等の改修一式（金網改修面積：104㎡）
- ・ 工事ランク なし
- ・ 指名業者数 3 者 工事の内容に応じた指名
- ・ 入札辞退者 2 者
- ・ 最低制限価格未満の入札 なし
- ・ 予定価格（消費税込） 3,605,800 円
- ・ 落札額（消費税込） 3,509,000 円
- ・ 落札率 97.32%

市： 本工事は老朽化したバックネットの既存金網、抑え材を撤去し、既存支柱の研磨、塗装を行った上で新たな金網を取り付ける工事である。業者選定については、建設業法上で遊具や

屋外体育施設等工事が位置付けられている「造園」、高所での作業ができる「とび」で事業登録を行っており、かつ、同様の工事実績がある県内業者 3 社を指名したものであり、当初から競争性を妨げる入札障壁があったとは考えていない。ただし、当初は運動会終了後の 11 月上旬に向けて発注準備を行っていたが、金網の単価が物価高騰に伴い予算編成時の約 1.4 倍となっていたため積算内容の見直しが必要となり、第 4 四半期での発注となったことから、その時点の各事業者の受注状況により応札数が低くなったものと推察している。

委員： 入札率が 97.32%と低い。落札業者は現場を知り得るなど入札額を安くするメリットがあったのか。

市： 今回の落札業者と辞退した 2 者の 3 者を指名したが、昨年度の予算編成前に専門的知見による状況の助言は辞退した 2 者からもらった。現場を知り得ているという観点でいくと、今回辞退した 2 者の方が現場を知り得えていたので質問のようなことはないと考えている。

事案 3 (1) 令和 4 年耕地災 第 209-7 号 壱ヶ渡地区 田災害復旧工事
(2) 令和 5 年度 市道堀浦杉水流線 道路災害復旧工事
(3) 令和 5 年度 市道東長江浦線外 1 線 道路災害復旧工事

委員： [抽出理由]
災害復旧 3 組は全部で 5 つ工事があり、指名業者は 9 者、うち 5 者は全て辞退。5 つの工事のうち 3 件は 1 者応札となっている。競争性がある工事だったのか

- (1) 令和 4 年耕地災 第 209-7 号 壱ヶ渡地区 田災害復旧工事
- ・ 担当課 農林整備課
 - ・ 工事概要 復旧延長 L=8.0m、ブロック積工 A=17.0 m²
 - ・ 工事ランク 災害復旧 3 組
 - ・ 指名業者数 9 者
 - ・ 入札辞退者 8 者
 - ・ 最低制限価格未満の入札 なし
 - ・ 予定価格（消費税込） 1,884,300 円
 - ・ 落札額（消費税込） 1,881,000 円
 - ・ 落札率 99.82%

市： 本工事については、崩壊した田の法面を、ブロック積工法で復旧するものになる。ブロック積については、技術を要する事から、自社で出来る業者が少なく、専門の技術者を市外から要請している状況。このため経費もかかる事から、辞退者が多かったものと推察している。

災害復旧工事においては、毎年、入札の辞退者が多く発生している状況にある。近年の災害復旧工事の入札不調率は 40%以上と非常に高く、競争性と共に、入札不調対策を検討している。

入札辞退者が多い要因としては、災害等の発注件数が多く、現場代理人の確保や、作業員の確保が出来ていない状況ではないかと推察している。

今後も入札不調をできるだけ減らす対策を検討したいと考えている。

- (2) 令和 5 年度 市道堀浦杉水流線 道路災害復旧工事
- ・ 担当課 建設課
 - ・ 工事概要 復旧延長 L=12.0m モルタル吹付工 A=90 m²
 - ・ 工事ランク 災害復旧 3 組
 - ・ 指名業者数 9 者
 - ・ 入札辞退者 8 者
 - ・ 最低制限価格未満の入札 なし
 - ・ 予定価格（消費税込） 1,796,300 円

- ・ 落札額（消費税込） 1,661,000 円
- ・ 落札率 92.47%

市： 本工事においては、モルタル吹付工というやや専門的な工種を有する工事となっていたため、辞退者が多かったのではないかと推察している。

(3) 令和5年度 市道東長江浦線外1線 道路災害復旧工事

- ・ 担当課 建設課
- ・ 工事概要 市道東長江浦線
復旧延長 L=4.6m、コンクリートブロック積A=13 m²
市道上下島内連絡線
復旧延長 L=5.0m、かご工 L=20.0m
- ・ 工事ランク 災害復旧3組
- ・ 指名業者数 9者
- ・ 入札辞退者 8者
- ・ 最低制限価格未満の入札 なし
- ・ 予定価格（消費税込） 2,046,000 円
- ・ 落札額（消費税込） 2,046,000 円
- ・ 落札率 100.00%

市： 本工事については、2個所の市道の災害現場の合冊の工事となり、共に復旧延長が5m程度と短いことや仮設工が必要になるなど、作業の効率性がやや劣ることから、辞退者が多かったのではないかと推察している。

委員： (2)の工事だが、法面の吹付工事で専門性が必要と言う説明だったが、指名業者した9者全社とも施工出来る業者なのか。

市： 本工事は土木一式工事として発注しており、法面工も含まれる工事にはなるが、指名した9者は、吹付工については自社での施工は難しく、専門業者が必要な場合は、それぞれで手配して施工している。

委員： (1)の工事は令和4年の災害復旧工事で指名競争入札は去年の9月に行われている。入札まで時間がかかっているが何故か。

市： この工事は水田の復旧工事になる。令和4年に被災を受け、令和4年に発注したが、入札が不調に終わったもの。令和4年作については、耕作されたが、令和5年作についても同様に水の管理をして耕作された。耕作された後に工事を発注したので、その間期間が空いたものである。

委員： (1)(2)(3)の工事とも入札が下期になっているが、例えば競争的な入札が行われるために、上期中に入札や契約を終わらせて、より業者に仕事をする期間を長くするなどの工夫をしたらどうか。

市： 3件の工事とも年度内に発注し標準工期で3月末までに完了するためこの時期の発注になった。

委員： 標準的な工期に加えてもう少し仕事をやってもらえるような方策を考えてはどうか。

市： 工期については、標準的な工期設定の計算式が設定されているが、作業員不足や週休2日制等も導入されてきているため、適切でかつ十分な工期の確保に今後も努めていきたいと思う。

事案 4 令和 4 年耕地災 第 209-12・1011 号 平田地区 田・水路災害復旧工事

委員： [抽出理由]

・落札業者は災害復旧 1 組の業者であるが、当該年度の指名競争入札は全て辞退している
そのような会社が 2 万円差で見積書を提示しており、他 2 社と示し合わせた見積もりでは
なかったのか

- ・ 工事概要 復旧延長 L=7.0m、かご枠工 L=18.0m
- ・ 随意契約の理由 地方自治法施行令 第 167 条の 2 第 1 項第 8 号
(競争入札に付し入札者がいないとき)
- ・ 予定価格(消費税込) 2,442,000 円
- ・ 落札額(消費税込) 2,420,000 円
- ・ 落札率 99.10%

市： 本工事は、崩壊した田の法面を、かご枠工法で復旧する工事になる。本件は、指名競争入
札に付し、不調であったため、市内の土木一式工事業者に聞き取りを行い、施工可能と回答
があった業者 3 者と見積合わせを行ったものである。

見積りについては、非公開でそれぞれに依頼したものであり、落札業者を含めた 3 者は、
どの業者に見積りを依頼したか知りえなかったと考えており、会社の受注状況や現場状況を
確認した上で、それぞれ入札したものと推察している。

落札業者は、上半期において宮崎県発注の工事(災害工事、ほ場整備、林道工事)を多く
受注していたが、下半期において技術者の確保ができたことや、宮崎県発注の工事を近接で
施工していたため、使用機械等の移動経費を勘案して見積もりを行ったものと推察している。

委員： 随意契約であれば、選ばれた業者がわかり、他の業者とアクションする等の時間的余裕が
あるのではないかと。見積書依頼から提出までどのくらいの期間があるのか。

市： 見積もり依頼から 10 日程度で提出となっている。

委員： 指名競争入札の予定価格と随意契約の予定価格はいくらなのか。

市： 指名競争入札と随意契約の予定価格は同じとなる。

委員： 3 者に見積もり依頼をして、2 者が予定価格と同じ額で見積書を提出している。100%の
見積書を提出すれば、受注したくないとの意思表示なのか。応札の行動パターンが分から
ない。

市： 令和 5 年度までは、土木一式工事ができる業者で A、B、C ランクの混合で指名してい
たが、災害については、応札がないため、令和 6 年度から、災害工事に関してもそれ
ぞれのランクの金額で発注するようにしている。また、今年度から災害工事を受注したと
ころには加点をする、市独自の格付け方式を取り入れているので効果が出てくるのではな
いかと期待をしているところである。

市長へ報告する調査及び審議の結果、又は市長に対する意見等

特になし。